

研究拠点リーダー

吉野 直行 殿

## 慶應義塾大学経商連携グローバル COE プログラム

## 「慶應義塾家計パネル調査」利用申請書

平成 年 月 日 申請	
慶應義塾大学経商連携グローバル COE プログラムによって実施された「慶應義塾家計パネル調査」データの利用を申請します。利用にあたっては別途提出いたします誓約書（書類 5）に記載された誓約事項を遵守します。	
1. 申請者氏名	氏名 _____ (印) 所属 _____ TEL _____ E-mail _____
2. 共同利用者	氏名 _____ (印) 所属 _____ 氏名 _____ (印) 所属 _____ 氏名 _____ (印) 所属 _____ 氏名 _____ (印) 所属 _____
3. その他の 共同研究者	氏名 _____ (印) 所属 _____ 氏名 _____ (印) 所属 _____
4. 研究題目（研究内容を特定するのに最も適切な題目を記入して下さい）	
5. 利用希望データ（ <input checked="" type="checkbox"/> を付けてください） <input type="checkbox"/> 第1年度（2004） <input type="checkbox"/> 第2年度（2005）	
6. データ利用期間（申請日から1年以内） 平成 年 月 日（ ） ～ 平成 年 月 日（ ）	

プログラム事務局使用欄	
運営委員会承認日： 平成 年 月 日	事務受付
データ利用承認期間： 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	

## 研究計画書

申請者氏名 \_\_\_\_\_ (印)

1. 研究題目 (研究内容を特定するのに最も適切な題目を記入して下さい)
2. 研究の目的 (本欄には研究の目的及び予想される結果と意義について、適宜文献を引用しつつ記述して下さい)
3. 利用する質問項目 (本欄には慶應義塾家計パネル調査のうち利用予定の質問項目について該当箇所を明示して記載して下さい)

## 研究計画書

### 4. 研究計画・方法

(本欄には、研究目的を達成するための研究計画・方法について具体的に記載してください)

## 身 上 書

ふりがな	
氏名	
自宅住所	(〒 )  TEL:  FAX:  E-mail:
所属先 (☑を付けてください)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 国公立・民間研究機関 <input type="checkbox"/> その他 ( )
所属先名称  役職名 (大学院生の場合はその旨記載してください)  所属先所在地	(〒 )       TEL: (内線: )  FAX:  E-mail:
備考	

※ 共同利用者もしくはその他の共同研究者として申請した方がいる場合、このページを複写して人数分ご提出下さい。

## 推 薦 書

平成 年 月 日	
慶應義塾大学経商連携グローバル COE プログラムによって実施された「慶應義塾家計パネル調査」データの利用申請にあたって、下記の申請者を推薦します。	
申請者氏名	
推薦者氏名 (自筆)	Ⓜ
勤務先名称	
役職名	
	(〒 )
自宅住所	TEL: FAX:
	(〒 )
勤務先所在地	TEL: FAX:
推薦理由	

## 誓約書

慶應義塾大学  
経商連携グローバルCOEプログラム  
研究拠点リーダー  
吉野 直行 殿

平成 年 月 日

住所

氏名 ⑩

「経商連携グローバルCOEプログラム」において作成したデータの利用にあたって、以下の事項を遵守することを誓約します。

- 1) 「経商連携グローバルCOEプログラム」において作成した「慶應義塾家計パネル調査」（以下、「本データ」とする）は、書類2において申請者が記載した研究目的にのみ利用します。
- 2) 本データの利用にあたっては、調査対象の秘密保護を図り、個々の調査対象を特定しようとする行為、個々の調査対象が識別できる形式での発表は一切しません。
- 3) 本データは、「慶應義塾大学経商連携グローバルCOEプログラム「慶應義塾家計パネル調査」利用申請書」における申請者および共同利用者として署名した者だけが利用します。
- 4) 本データを第三者には提供しません。
- 5) 認められた利用承認期間が終了する日までに、本データを経商連携グローバルCOEプログラム運営委員会（以下、「運営委員会」とする）に返却し、本データのコピーを作成した場合には、そのコピーを消去・破棄します。
- 6) 認められた利用承認期間が終了する日までに、所属・身分の変更により利用者の資格を失った場合は、ただちに運営委員会に報告し、資格喪失後1ヶ月以内に本データを運営委員会に返却し、本データのコピーを作成した場合には、そのコピーを消去・破棄します。
- 7) 本データの分析に基づいて論文等を発表するときは、慶應義塾大学経商連携グローバルCOEプログラムから本データの提供を受けたことを記載し、発表した論文等研究成果物を運営委員会に1部提出します。
- 8) 本データの分析に基づいて論文等を発表する場合、その論文等の著者（共著者を含む）は本データの申請者、共同利用者またはその他の共同研究者として認められた者に限り、それ以外のものを著者に加えることはしません。
- 9) 本データの利用により何らかの不利益を被ったとしても、慶應義塾大学経商連携グローバルCOEプログラムの責任は一切問いません。

以上の誓約が守れない場合、慶應義塾大学が法律上の手続きをとることに異存はありません。

※ 共同利用者として申請した方がいる場合、人数分コピーしてご提出ください。

※ 本データの提供を受けた旨を記載する際には以下の例を参照して下さい。

例：本稿の分析に際しては、慶應義塾大学経商連携グローバルCOEプログラムによる「慶應義塾家計パネル調査」の個票データの提供を受けた。